

平成 26 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 震災から命を守る会
活動テーマ	防災・防犯まちづくり 「みんなで作る災害に強い環境づくり」



- ・子供の数よりペットの数の多い家庭状況の中、災害が発生した折り、人とペットと一緒に避難するにはどのように準備すればいいのか、専門家の意見を聞いて対策を地域で考えていく行程を企画しました。
- ・7日の防災セミナーパネルディスカッションで、各講師の思い、聴講者からの希望、質問などの中から、和歌山市総合防災課水口主幹より、和歌山市防災計画(右上写真)を改正〔平成 27 年度改正〕する折に、『ペットを「物」としての扱いから「命ある動物」とみなし、避難所運営の具体化に向けて前向きに検討します』との発言をいただきました。・また、和歌山市自治会連絡協議会 副会長・宮前地区連合自治会会長 前島 五十昭氏より、「市内自治会の避難訓練にもペットの同行避難も積極的に実施するように働きかけるとともに、災害時に避難所で受け入れられるように協議していく」との弁も出ました。・このイベントを機会に、和歌山市が県内で初の和歌山県のペット同行避難訓練のモデル市として、同行訓練を取り入れていくことになりそうです。
- ・当会は、単にペットと同行避難訓練を推進するために「防災・防犯まちづくり」を実施したわけではありません。子供の数よりペットの数の多いという時勢のニーズを活用して、津波が来ても助からないと、なかばあきらめていた地域の方やお年寄り等に、積極的に避難するための発揚するきっかけとして、ペットの同行避難を取り入れた次第です。ペットという視線を向けることによって、これまで気が付かなかった視点で予防防災の意識を持ってもらえたものと思います。
- ・地域自治会、学校、飼い主(地域住民)が一つとなって、事前の話し合い、運営方法、役割等々を行うことは、災害時に向けた新たな環境づくりとなるものと確信します。